

算数科学習指導案

授業日 令和5年 1月29日(月)

学習者 5年3組 38名

授業者 本間 啓介

1. 単元名 「比べ方を考えよう(2)」

2. 単元の目標

2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。	2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。	2つの数量の關係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

4. 単元計画と学習評価(全10時間)

時	学習内容	学習評価(知・思・主)〈方法〉
1	・シュートの入った回数とシュートした回数に関係に着目し、1番よく成功した人の比べ方を考える。	・倍の意味を基にして、割合を用いた2つの数量の關係の比べ方を図や式を用いて考え説明することができる。(思)〈発言・交流・ノート〉
2	・大吉を引いた人数とおみくじを引いた人数の關係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方を考える。	・2つの数量の關係を比べるときに、全体を1とみて部分の大きさを表して比べる方法を考え、説明している(思)〈発言・交流・ノート〉
3	・2つの数量の關係に着目し、百分率や歩合での表し方を考える	・2つの数量の關係の比べ方を、倍の意味を基にして考え、比べようとしている。(主)〈観察・発言・ノート〉
4	・基準量、比較量、割合の關係に着目し、基準量と割合から比較量を求める方法を考える。	・百分率や歩合による割合の表し方を理解し、割合を百分率で表したり、百分率で表された割合を小数で表したりすることができる(知)〈発言・ノート〉
5	・基準量、比較量、割合の關係に着目し、比較量と割合から基準量を求める方法を考える。	・基準量と割合から比較量を求めることができる。(知)〈発言・ノート〉
6	・割合の適用問題を考える。	・比較量と割合から基準量を□として立式して求めることができる。(知)〈発言・ノート〉
7	・和や差を含んだ割合の表現に着目し、基準量と割合から比較量を求める方法を考える。	・基本的な問題を解決することができる。(知)〈観察・ノート〉
8	・学習内容の生活への活用(いかしてみよう)。	・割引の場面で、ひかれる金額や割合に着目して解決の仕方を考え、説明している(思)〈発言・交流・ノート〉
9	・学習内容の習熟・定着(たしかめよう) ・数学的な見方・考え方のふりかえり(つないでいこう算数の目)	・割合の和や差を含んだ場合の、比較量の求め方を理解し、求めることができる。(知)〈観察・発言・ノート〉
		・学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。(思)〈観察・ノート〉
		・学習内容を生活に生かそうとしている(主)〈観察・ノート〉
		・基本的な問題を解決することができる。(知)〈観察・ノート〉

5. 本時でめざす子どもの姿

2つの数量の關係を比べるときに、全体を1とみて部分の大きさを表して比べる方法を考え、説明している。

【思】〈ノート・発言・交流〉

6. 仮説との関連

① 「やってみよう」と思える課題設定の工夫（仮説1）

- ・身の回りのことを問題にすることで、児童が問題を自分事として捉え、考えることができるようにする。
- ・問題の答えを予想することで、学習意欲を喚起する。

② 学びの場の保障（仮説2）

- ・学習の活動形態（個人、ペア、グループ）や学習のアイテム（具体物、ノート、タブレットなど）を児童が選択できるようにすることで、主体的に活動し自分の考えをもてるようにする。
- ・ヒントコーナーを設置することによって、低位の児童や困っている児童が問題を解決する見通しをもたせる。

7. 本時の学習展開（2/9）

	児童の学習活動	評価□ 留意点※																																																																	
導入 7分	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦大吉が出やすい神社は？出やすい順に並べよう！</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>☐</th> <th colspan="10">○：大吉 ●：大吉以外☐</th> <th>大吉の人数(人)</th> <th>くじを引いた人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 神社☐</td> <td>●</td><td>○</td><td>●</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>4☐</td> <td>8☐</td> </tr> <tr> <td>B 神社☐</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>4☐</td> <td>10☐</td> </tr> <tr> <td>C 神社☐</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>8☐</td> <td>10☐</td> </tr> <tr> <td>D 神社☐</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>9☐</td> <td>12☐</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>○答えを予想する。</p> <p>○課題を作る。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦大吉の人数もくじをひいた人数も異なるとき、どのように比較ののだろうか。</p> </div>	☐	○：大吉 ●：大吉以外☐										大吉の人数(人)	くじを引いた人数(人)	A 神社☐	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	4☐	8☐	B 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4☐	10☐	C 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8☐	10☐	D 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9☐	12☐	<p>※前時の学習を振り返ることで、どっちがよく入るかを比べるためには、入った回数かシュートした回数を揃える必要があることを想起する。</p> <p>※答えを予想し、友だちを交流することで確かめたいという意欲を喚起する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #f9cb9c;">①ゴール</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #f9cb9c;">②課題設定の工夫</div> </div>
☐	○：大吉 ●：大吉以外☐										大吉の人数(人)	くじを引いた人数(人)																																																							
A 神社☐	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	4☐	8☐																																																							
B 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4☐	10☐																																																							
C 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8☐	10☐																																																							
D 神社☐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9☐	12☐																																																							
展開 30分	<p>○比べ方を考える。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> ③時間の保障 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート、タブレットなど自分がよいと思う方法を選んで考える。 ・図や表の枠、具体物を必要に応じて使う。 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> ④自己決定 ⑤アイテム </div> <p>○全体で交流する。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> ⑦共有 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを発表し、答えを確認する。 ・大吉の人数÷くじを引いた人数で求められる数について、単位は何か、またどのような意味かを話し合う。 <p>○問題の答えを確認する。</p>	<p>※活動形態（個人、ペア、グループ）や学習のアイテムを自分で選んでよいことを確認する。</p> <p>※ヒントコーナーを設置することで、児童に問題解決のための見通しをもたせる。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> ⑥安心できる手立て </div> <p>□2つの数量の関係を比べるときに、全体を1とみて部分の大きさを表して比べる方法を考え、説明している(思)〈発言・交流・ノート〉</p>																																																																	
終末 8分	<p>○学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦割合を使うと比べることができる。</p> <p style="text-align: center;">割合=比べられる量÷もとにする量 で求める。</p> </div> <p>○練習問題に取り組む。</p> <p>教科書 p.70 △1の問題を解く。</p>	<p>※まとめは児童の言葉でつくることによって、意欲につなげる。</p>																																																																	